

<p style="text-align: center;"><b>情報基盤生態論</b> Information Infrastructure Ecosystems</p>	<p style="text-align: center;">(教員名) 吉田 大介</p>	
<p style="text-align: center;">知識情報基盤研究分野 中核科目</p>	講義科目	選択
	1 単位	2017 年度・前期
<p><b>I 科目の主題</b></p> <p>現在の ICT 分野での基盤技術となりつつある「クラウドコンピューティング」を情報環境エコシステムの中での基盤として捉え、その関連技術、アプリケーション、サービス形態、そして様々なビジネスモデルについて取り上げる。</p> <p>授業前半では、クラウドのオープンな情報基盤を実現する WebAPI や標準規格、そして仮想化技術について解説する。Amazon Web Services 等のパブリッククラウドと OpenStack 等のプライベートクラウドを用いてデモ・講義を行う。</p> <p>授業後半では、近年のモバイルやセンサ関連の話題を中心に、位置情報の基礎と関連技術、そして、それを活用したビジネスモデルについて取り上げる。最後に、ビッグデータ（ソーシャルメディアやセンサデータ等の非構造化データ）を処理・分析するための大規模データ解析環境等の関連技術を解説する。</p>		
<p><b>II 授業の到達目標</b></p> <p>情報基盤技術の仕組みやそれぞれの技術についての関係性について学び、情報システムやサービスを有効に活用できる能力を身につける。また、システム管理者や利用者など、多方面からシステムについて考え、利点や課題について議論できることが本科目の到達目標である。</p>		
<p><b>III 授業内容・授業計画</b></p> <p>第 1 回 情報基盤生態論 ガイダンス</p> <p>第 2 回 Web サービスの基礎</p> <p>第 3, 4 回 WebAPI と応用例</p> <p>第 5, 6 回クラウドコンピューティング概論：SaaS, PaaS, DaaS の事例</p> <p>第 7, 8 回 パブリッククラウド：IaaS の事例</p> <p>第 9, 10 回 プライベートクラウド：IaaS の事例</p> <p>第 11 回 仮想化技術</p> <p>第 12 回 位置情報ビジネスの現状と関連技術</p> <p>第 13, 14 回 ビッグデータと関連技術</p> <p>第 15 回 まとめ</p>		
<p><b>IV 事前・事後の学習内容</b></p> <p>講義用ホームページに予め講義資料を掲載しておくので、授業前までに確認しておくこと。授業後は講義で解説した内容について各自で調べ、次回の授業までに質問内容を考えておくこと。</p>		
<p><b>V 評価方法</b></p> <p>平常点は授業態度・貢献度により 10 点、期末レポートを 90 点で評価し、その総計により評価する。</p>		
<p><b>VI 受講生へのコメント</b></p> <p>コンピュータ及びインターネットに関する基礎的な知識を有すること。</p>		
<p><b>VII 教材</b></p> <p>授業時間中にプリントを配布。参考図書は授業の中で紹介する。</p>		